

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月28日

計画の名称	鴻巣市における循環のまちの実現（防災・安全）（第2期）														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	鴻巣市														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		553	A	553	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	ストックマネジメント実施方針及び計画策定の進捗率を0.0%（H30当初）から100.0%（R4末）に向上させる。			
	ストックマネジメント実施方針及び計画策定進捗率	0%	100%	100%
	策定までの検討済み項目（項目）／策定までに検討すべき項目（19項目）			
2	ストックマネジメント計画に基づく管渠の調査実施率を0.0%（H30当初）から12.1%（R4末）に向上させる。			
	ストックマネジメント計画に基づく管渠調査実施率	0%	3%	12%
	調査実施済み延長（m）／調査を実施すべき延長（414,804m）			
3	ストックマネジメント計画に基づくマンホール蓋改築実施率を0.0%（R3当初）から100%（R4末）に向上させる。			
	ストックマネジメント計画に基づくマンホール蓋改築実施率	0%	0%	100%
	改築済みマンホール蓋数（箇所）／ストックマネジメント計画に基づくマンホール蓋改築必要数（1,400箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
ストックマネジメント計画策定時に成果目標を定め、計画に基づき污水管路施設の点検調査を実施する。																

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	－	改築	ストックマネジメント事業	ストックマネジメント実施方針及び計画策定、污水管路施設の点検調査	鴻巣市	■	■	■	■	■	132	－	策定済	
		ストックマネジメント計画																		
	A07-002	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	管渠（ 污水）	改築	ストックマネジメント事業（マンホール蓋改築）	マンホール蓋交換 N= 1， 4 0 0箇所	鴻巣市					■	■	421	－	策定済
		ストックマネジメント計画																		
											小計							553		
												合計							553	

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鴻巣市社会資本総合整備計画事業評価委員会により事後評価を実施する。	令和6年3月
	公表の方法
	鴻巣市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ストックマネジメント実施方針及び計画策定の進捗率を0%(H30)から100%(R4)に向上させることにより、今後の維持管理方針の策定をすることができた。 ・ストックマネジメント計画に基づく管渠の調査実施率を0%(H30)から12.1%(R4)に向上させることにより、維持管理指針に基づく管渠の健全度判定を行い、現状把握をすることができた。 ・ストックマネジメント計画に基づくマンホール蓋の改築実施率を0%(R3)から100%(R4)に向上させることにより、老朽化したマンホール蓋の機能改善をし、事故等のリスク低減ができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

今後も下水道施設の維持管理に関する計画、点検及び修繕等を行い、適切な維持管理に取り組んでいく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	策定までの検討済み項目（項目）／策定までに検討すべき項目（19項目）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	調査実施済み延長（m）／調査を実施すべき延長（414,804m）		
	最 終 目標値	12%	
	最 終 実績値	12%	
3	改築済みマンホール蓋数（箇所）／ストックマネジメント計画に基づく改築必要数（1,400箇所）		
	最 終 目標値	100%	改築対象のマンホール蓋としていた箇所数の相違、及びマンホールの構造上による改築不能等の理由により、改築済みマンホール蓋数が減ったため
	最 終 実績値	96%	